

上下の絵を見くらべて、まちがいを8カ所見つけてね。全問正解された方のうち、抽選で10人の方に図書カードもしくはラグーナの湯無料利用券をプレゼントします。

応募締切 7月16日(水)

企画広報課 ☎66♦1145

応募方法

ハガキまたはファクスに、①答え(左の絵に○をつける)と②住所・③氏名(ふりがな)・④年齢・⑤電話番号・⑥広報紙の感想、ご意見などを書いて応募してください。なお、当選者のお名前を広報がまごおり9月号に掲載しますので、ご了承ください。

送り先

〒443-8601 旭町17-1
企画広報課「クイズ」係
FAX66♦1190

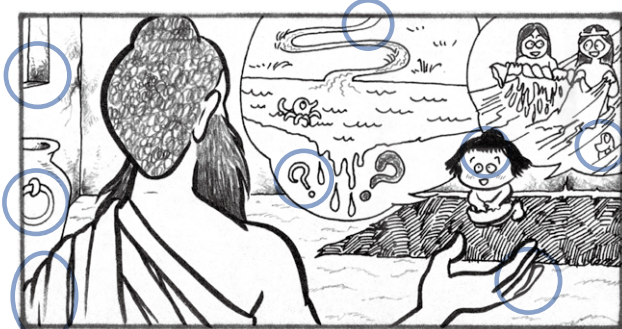
60th Anniversary

ねじゃかさん④

文・西島 諒



はじめに話しかけてきたのはリスだったそうたわ。
「おお！その人間さんよ。あなたは流されているけど、生きてるのかい？それともそうでないのかい？」
「リスさん、はじめまして。こんな格好で流されているけど、私は生きていますよ！」
「変な事をしているなあ。やわらかいクルマなんかよりもっと変な事だよ！」
「ときにリスさん、この川の先がどうなっているか、知っているかい？」
「知らないなあ。どこまでもこのまんま続いているのじゃあないのか？」
「私はそれを確かめるために、こつやって流れているのだよ！」
「人間ってのはおかしい事を考えるもんだなあ…！ただ、おもしろいなあ。この先になにがあるのか、おいらも知りたくなってきたよ。一緒に行っていいかい？」
「もちろん、ちやうど話し相手が欲しかったところだよ！」
「よしきた。食べ物を持っていかなきゃな！」
リスは口いっぱいクルミをほおぼって、木の上からお釈迦さまのお腹に向けて、ぴょんと跳んだんだ。
「乗り心地はどうだい？」
「そつたなあ、まあ悪くないよ！」
森を抜けると、川の両側に草原が広がってきた。見たことのない風景にリスはお釈迦さまのお腹の上をぐるぐる回って喜んだんだ。
「もしも、そのながされてるひと、だいじょうぶですかあ？」
今度はウサギが声をかけてきたんじやわ。
「心配してくれてありがとう。ウサギさ。」
「リスがおなかのつえののってますよあ！」
「やあウサギ。おいら達は川の先に何かあるのか見に行くんだ。ウサギも来るか？」とリスが聞くと、
「旅の仲間が多いほうがいい。飽きたら途中で降りたらいいいよ！」
そう言ってお釈迦さまはウサギに手を伸ばしたんだと。
とんとん、と腕を伝ってリスの隣に来たウサギは言ったんだわ。
「おじゃましますっ。わあ、のりこじこじですあ！」



5月号の答え

5月号クイズまちがいがし(ねじゃかさん②)の当選者
応募総数65通
正解者55人
当選者(敬称略・50音順)
西浦町 壁谷八重美
平田町 酒井穂衣
三谷町 水藤磨知
大塚町 杉浦協子
栄町 高島奈々
三谷町 竹内大輔
宝町 竹尾早苗
水竹町 中根てるみ
金平町 二宮真紀
緑町 松下とみ江
おめでとーございませう。賞品は7月初旬に発送します。